

銀漢亭日録

伊藤伊那男



- 6月16日(日)▼新宿発高速バスにて昼前、富士急ハイランド。高部務氏の迎えを受け、吉田うどんの昼食。河口湖の別荘へ。いつもの別棟を借用。エッセイの纏めなど。十八時半、伊料理の「リチエッタ」に案内して戴く。いつもながら洒落た料理。戻って欲談。ウイスキーを少々舐める。二十三時就寝。
- 17日(月)▼五時起。鳥の声がいい。七時、ペランダで朝食。高部氏はゴルフへ。庭の青山椒が今年も豊作。ずい分摘んで下処理。読書。夜富士急ハイランドの和食レストラン。戻ってウイスキー少々で欲談。二十三時就寝。
- 18日(火)▼七時起。手荒な雨。十時、富士山駅まで送って貰う。高速バスにて帰宅十五時。梅干三*の水が上がり、赤紫蘇を入れる。実に美しい発色！
- 19日(水)▼NY在住の月野ぼぼさんの夫君、木川貴幸氏のピアノリサイタル。青山の「スタインウェイ&サンズ東京」。ぼぼなさんは伊那北高校の後輩。夫君は諏訪清陵高校。
- 21日(金)▼娘が映画「オベラ座の怪人」(リバイバル)がいいというので、「109シネマズ二子玉川」へ。見応えあり。
- 22日(土)▼十一時、日本橋「日本料理 吉一」。「纏句会」十三人。十五時帰宅。
- 23日(日)▼終日机辺。「銀漢」八月号の選句。数句会の選句。エッセイなど。メロン佳。
- 27日(木)▼岩野歯科。虫歯の治療。夜、薬味たつぷりの鰻の叩き、蒸し茄子など。西瓜、さくらんぼ佳。
- 28日(金)▼いよいよ本格的な梅雨か。「彗星集」選評書いて八月号

- の執筆全部終了。肩の荷が降りる。今日から十回目の抗腫剤服用。
- 29日(土)▼十七時、「京王プラザホテル」の「コンコードボールルーム」。小川鞆舟主宰「鷹」の「創刊六十周年記念祝賀会」。来賓七十名ほど。全体で三百人位？か。大宴会、権未知子、藤本美和子さんと隣席。久々、大塚凱君と会う(店のアルバイトをして貰っていた)。
- 30日(日)▼「第三十三回 信州伊那郡月俳句大会」の選(応募一五六三句)、伊那市へ送る。午後、北村監督の事務所へ井蛙さんと合流。平澤さん交えて「信州伊那郡月俳句大会」の今後の運営について話し合い。
- 7月2日(火)▼ここ数ヶ月をかけて、関東戦国時代の城跡四十城とその時代の歴史については一冊分の文章をまとめたものを編集者のIさんに託す。果たして本に成るかどうかは全く不明ながら、自分の中では一区切りを付ける。「魚勝」で小酌。但し私はお茶漬など。
- 3日(水)▼昼、発行所にて運営委員会。諸経費高騰が始まっており、来年の資金繰りはかなり厳しい見通し。
- 4日(木)▼午後、下北沢の「星乃珈琲店」。「NHK俳句」編集部浦川聡子さんと「復活開店「銀漢亭」秋の野菜編」の構成他、最終打合せ。あと、銀細工の店をやっている甥(姉の長男)を訪ねて近況報告。姉も元氣と。
- 5日(金)▼「銀漢」八月号の校正作業。武田氏へ投函。数句会の選句。午後、順天堂医院でCT検査。今日は泌尿器科。尿管結石は消滅していると。薬で流れた様子にて一安心。
- 6日(土)▼十時、整体の加々美先生。作句(三句会分の構想)。
- 7日(日)▼七十五歳の誕生日に辿り着いた事に感謝。暑い日。二品ほどの料理作り、午後、日暮里の「夕焼け酒場」で「銀漢亭の日

- 伊那男生誕祭」。とにかく暑い最中、三十数名が集まって下さる。八戸の吉田千嘉子さんも。清人さんの気仙沼の海産物、井蛙さんのヴーヅクリコ二本、その他皆様から数々の差し入れあり。また、突然、清水旭峰医師が来られ、大きな花束を下さる、感謝！三句出しの句会。嬉しい誕生日を過す。
- 8日(月)▼「銀漢」九月号のエッセイ(京の送り火)、自句自解他、執筆。暑い日。終日家。
- 9日(火)▼岩野歯科。治療。今日も暑い日。夜、「天為」発行所にて「火の会」十一人。今日は弁当持ち寄り。獅子唐とじゃこ炒めの手料理持参。
- 10日(水)▼暑さのせい、か、気圧のせい、か、終日気怠く、集中力保てず、ぐずぐずと過す。
- 11日(木)▼体調戻す。小学館「三丁目の夕日」のエッセイ二回分執筆し、伊藤政さんに送る(汀女、子規)。桃旨い。Kさんの句集稿点検を始める。
- 12日(金)▼午後、表参道。高坂小太郎さんの三年振りの絵画展。旺盛な創作欲に驚嘆。中では「函谷鉢」「黒鱈」の絵が印象深い。
- 13日(土)、14日(日)▼Kさんの句集稿選句。「銀漢」夏の俳句大会の選句(応募四百八句)、「本部句会」の選句。素麺、トマト、メロンなどが旨い。
- 15日(月)▼このころ時間があると、今村翔吾、本郷和人、磯田道史氏のエッセイなどを読み返している。
- 16日(火)▼朝から順天堂医院。採血。齋浦先生との面談。検査結果は問題なし、順調と。今日は、薬局の手続も早く、成城に戻って町中華店で冷麺食す。買物をして帰宅。
- 17日(水)▼数句会の選句。「俳壇」より九月号の巻頭十句が締切過ぎ未着と。すっかり失念していた。急ぎ十句送る。

- 18日(木)▼十時、田町の専売会館にて「三田俳句丘の会」。午前中は運営委員会。午後は句会。夜、麴町にて「銀漢句会」。あと納涼懇親会。
- 19日(金)▼今日から十一回目の抗腫剤服用。「俳句てふてふ」の「俳句万華鏡」に食べ物エッセイ投函(新蕎麦・鱧)。麴の鍋(山形の麴、新蕎麦の車麴、宮城の油麴)。
- 20日(土)▼十一時半、土呂駅。大野田さんの迎えを受け、蕎麦の「さくち」にて三色蕎麦の昼食の馳走を受ける。十三時、盆栽村の和室にて「彩の国句会」(伊藤庄平さん座長)。席題が二つ出て、計七句出句の句会。合評など丁寧な句会。あと「藍屋」にて親睦会。猛烈に暑い日。久々にお会いする方もあり、楽しい一日。
- 21日(日)▼七時四十五分、新宿バスタ発高速バスにて身延山久遠寺へ。二十代の頃訪ねた記憶がぼんやりある。酷暑の中、本堂への約三百段の石段の登り降りにはなかなかのもの。あと、日蓮上人の御廟所、御草庵跡を巡る。バスと身延線を繋いで下部温泉へ。三十年前の大腸癌手術のあと湯治に来て以来。「古湯坊 源泉館」。直前の予約だったので本館は満員で湯治棟に一部屋空きありとて、四畳半のやや寂しい部屋。学生時代の下宿を思い出す。十四時半から十七時まで、湯に浸る。夕食後、また一時間、入浴。
- 22日(月)▼昨夜は二十三時頃就寝。今朝五時起床。夜中に一度もトイレに起きなかったのは久々のこと。朝風呂一時間半、体重五十七*は少々落ち過ぎ。一眠りして十時から二時間、入浴。昼食後、昼寝。宿にきた八百屋から桃とトマトを分けて貰う。甲府は気温三十八度と。十五時から十七時までまた湯に浸る。夕食後一時間入浴。